

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	図書館・博物館施設管理事業			会計	款	項目	大事	小事
				01	10	05	07	01 02
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進	主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	図書館・博物館利用者	意図	快適・安全に施設を利用していただく。
事業内容	清掃・空調等の保守業務を管理専門業者に委託するとともに、図書館及び博物館の施設と設備の維持・管理を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	図書館及び博物館が老朽化することにより、施設の不具合発生が懸念される。毎年、修繕計画を立て、緊急性のあるものから優先的に修繕している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	施設の利用者数	91,036	94,140	82,926	人	→→	中央図書館+博物館
②	施設の利用者数1日平均利用者数	302	315	280	人	→→	利用者数/開館日数	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 常に良好な環境で学習・研究できる場を提供するため、施設の清掃及び環境衛生業務委託に係る日常の清掃場所を再点検した。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		26,342,397	24,868,262	28,792,952	誘導灯設備改修及び煙感知器修繕、自動ドア駆動装置・反射センサー修繕、2階男女トイレブース修繕、3階排煙オペレーター修繕、車庫入口シャッター修繕、図書館ブラインド修繕、博物館展示室非常用照明修繕等を行った。			
事業費(b)(円)		17,313,547	16,030,662	20,536,352				
うち一般財源		17,313,547	16,030,662	20,536,352				
職員給与費(c)(円)		9,028,850	8,837,600	8,256,600				
人役・職員(人)		1.25	1.25	1.20				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		0.40	0.40	0.30				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	図書館及び博物館の利用者の安全のため、小破修繕を行うとともに個別施設計画を作成し、引き続き快適で安全な施設として保全する。	③取組における課題(Check)	さらなるバリアフリー化や施設の経年劣化に伴う修繕を見極めて行う必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	誘導灯設備改修及び煙感知器修繕、自動ドア駆動装置・反射センサー修繕、2階男女トイレブース修繕、3階排煙オペレーター修繕、車庫入口シャッター修繕等を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	小破修繕を行うとともに、個別施設計画を作成する必要がある。